

平成28年度熊本県学力調査「ゆうチャレンジ」 中学校第2学年 理科 出題のねらい等

連番	大問	中問	小問	領 域	学年	学習指導要領の内容等	出題のねらい	観 点				問題類別	
								自然事象への関心・意欲・態度	科学的な思考・表現	観察・実験の技能	自然事象についての知識・理解	知識	活用
①	1	(1)		エネルギー	中1	(1)ア(ウ)音の性質	音の速さと光の速さの違いから、時間を正確に測定する方法を見いだしていること。		○				○
②		(2)		エネルギー	中1	(1)ア(ウ)音の性質	音の伝わり方は、波であることと、あらゆる方向に伝わっていくことを理解していること。				○	○	
③		(3)		エネルギー	中1	(1)ア(ウ)音の性質	音の速さは、物質によって異なることを見だし、水中での音の速さを使って水深を求めていること。		○				○
④	2	(1)		粒子	中2	(4)ア(イ)原子・分子	原子の周期表に進んで関わり、原子の組み合わせから、様々な化学式を求めようとしていること。	○					○
⑤		(2)		粒子	中2	(4)イ(ア)化合	誤差が生じた理由を実験操作から指摘することができること。			○		○	
⑥		(3)		粒子	中2	(4)イ(ア)化合	表やグラフから、マグネシウムと酸素の結合する質量比を表現していること。		○				○
⑦		(4)		粒子	中2	(4)イ(ア)化合	グラフや表を読み取り、反応したマグネシウムの量を求めていること。		○				○
⑧		(5)		粒子	中2	(4)イ(ア)化合	マグネシウムと酸素の反応についての化学反応式を理解していること。				○	○	
⑨		(6)		粒子	中2	(4)ア(ア)物質の分解	化学反応について、変化前と変化後の原子の個数が同じであることを表現していること。		○				○
⑩		(7)		粒子	中2	(4)ウ(ア)化学変化と質量の保存	質量保存の法則を理解していること。				○	○	
⑪	3	(1)		生命	中2	(3)イ(イ)刺激と反応	刺激と反応などに関する観察、実験の基本操作を身に付けていること。			○		○	
⑫		(2)		生命	中2	(3)イ(イ)刺激と反応	実験結果のデータを適切に処理することを身に付けていること。			○		○	
⑬		(3)		生命	中2	(3)イ(イ)刺激と反応	刺激の信号が伝えられて反応が起こるしくみを理解していること。				○	○	
⑭		(4)		生命	中2	(3)イ(イ)刺激と反応	反射について理解していること。				○	○	
⑮		(5)		生命	中2	(3)イ(イ)刺激と反応	刺激に反応する感覚器官の働きについて、刺激の強さと働きを関連付けて表現できること。		○				○
⑯		(6)		生命	中2	(3)イ(イ)刺激と反応	感覚器官のつくりや働きについて進んで関わり、身近な現象と関連付けようとしていること。	○					○
⑰	4	(1)		地球	中1	(2)ア(ア)火山活動と火成岩	火山噴出物についての観察の基本技能を身に付けていること。			○		○	
⑱		(2)		地球	中1	(2)ア(ア)火山活動と火成岩	双眼実体顕微鏡の特徴を理解し、基本操作を身に付けていること。			○		○	
⑲		(3)		地球	中1	(2)イ(ア)地層の重なりと過去のようす	かぎ層について理解していること。				○	○	
⑳		(4)		地球	中1	(2)ア(ア)火山活動と火成岩	結晶の大きさのちがいについて確かめる方法について、高温の飽和水溶液の冷え方と関連付けて表現していること。		○				○

※ 網掛けの問題は、過年度の調査において課題が見られた内容の改善状況を見る問題として出題しています。